

しきなん

あふれる笑顔 つながる 心 絆を深める 敷島小!

平成二十二年度の入学式が四月六日に行われました。今年度は創立以来二十八回目の入学式ですが、一年生は県の「はぐくみ三十プラン」により少人数教育を趣旨とする三学級編成となりました。

さて、新学期、新たに三名の転入生を迎え、児童数四百二十七名の児童、二十八名(二名は非常勤)の教職員で船出した本校ですが、児童も明るく元気であり、新任の教職員もすぐに学校に慣れ、校内にさわやかな風が吹いています。
今年度の学校教育目標は「豊かな人間性と生きる力を身に付ける子どもの育成」です。「生きる力」は、知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かで主体的に行動する児童を目指す中で培われるものです。このためには、「元氣よく子どもが「学びたい」「遊びたい」という気持ちをもって登校し、楽しい思い出を持って下校する。教職員は自分の教育

敷島南 小学校

活動に充実感をもって仕事をします。そして児童と教職員がともに、あふれる笑顔で夢と希望を語る...

そんな学校をみんなで作りたいと思います。そして、大切な視点は家庭・地域と学校との連携です。例えば、「家庭学習の充実、早起き朝ご飯」の取り組み、地域の行事や自然体験での多くの人との関わりなどはその典型です。ぜひ、学校と家庭・地域が絆を深め、子どもたちの健全な成長のため、共にパートナーシップを築き、より開かれた関係を保てるようにご理解とご協力をお願いいたします。



がんばれ! 一年生

四月十五日(木)児童会主催による「一年生となかよくする会」が行われました。上級生が作ってくれた温かい雰囲気の中で、一年生は笑顔いっぱい学校紹介



介の寸劇やゲームに興じていました。とても好感を持ってたのは、「さんぽ」の歌を心を揃えて歌えたこと、上級生の輪の中で伸び伸びと自分を出していたことです。本校の児童は大きな集団の中でも、周囲のことを考えられる良さがあって、この日は一年生への心遣いが見られました。この優しさを、一年生もきくと感じてくれたことでしょうか。この会の運営の中心とな

った六年生もよく頑張りました。会終了後の笑顔が印象的でした。

安心・安全な 学校づくりを

学校は子どもの健やかな成長をめざして教育活動を行うところです。このため、安全で安心して学べる環境を確保することが必要です。本校では、教職員が危機管理意識を高め、協働体制をモットーに事件事故の未然防止に努めています。また、保護者の皆様、自治会、老人クラブ、諸団体等との連携が機能し、多くの方の丁寧な見守りが行われていることに衷心より感謝申し上げます。



十六日(金)には、甲斐市専門交通指導員の四名の方が来校され一年生

を対象に実際の道路で、渡り方を指導してくださいました。学校では、学年による複数下校や全校による集団下校の実施等を継続していく中で基本的な「自分の命は自分で守る」指導も徹底していきたいと思えます。

学習支援体制の充実

平成二十二年度の本校教職員は転出者十名に対し十名が転入いたしました。また、より少人数学習を展開させるため、学級数の状況から四・五年生と三学級が解消になった三年生できめ細かな指導と支援の体制を組み、教育成果の向上を図ります。(加配数は県と市それぞれ一名です。)

いつでも 学校に来てくださ

い。PTA総会でもお話をさせていただきましたが、本校は「開かれた学校」をめざしています。学校行事以外でも、授業参観、そして子どもに関わる話でも結構ですので、学校に気軽に來てください。また、学校だけでなくにもご意見をいただけたいと思います。皆様の声を謙虚に受け止め、学校経営にも生かしていきます。
【文責 伊藤】